6月5日

令和６年第２回豊後高田市議会定例会会議録（第１号）

○議事日程〔 第１号 〕

令和６年６月５日（水曜日）午前10時０分　開会

※開会宣告

※開議宣告

日程第１　会議録署名議員の指名

日程第２　会期の決定

日程第３　第29号議案から第35号議案まで及び第３号報告から第５号報告まで並びに報第１号から報第５号まで上程

提案理由説明

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（16名）

１	番	野　﨑　　良
２	番	在　永　　恵
３	番	於　久　弘　治
４	番	毛　利　洋　子
５	番	中　尾　　勉
６	番	井ノ口　憲　治
７	番	阿　部　輝　之
８	番	土　谷　信　也
９	番	成　重　博　文
10	番	松　本　博　彰
11	番	河　野　徳　久
12	番	安　東　正　洋
13	番	北　崎　安　行
14	番	河　野　正　春
15	番	菅　　健　雄
16	番	大　石　忠　昭

○欠席議員（０名）

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局長	大塚栄彦
次長兼議事係長	近藤浩二
総括主幹兼庶務係長	黒田祐子
主幹	清水栄二

○説明のため議場に出席した者の職氏名

市長	佐々木敏夫
副市長	安田祐一
市参事兼総務課長	飯沼憲一
市参事兼企画情報課長	丸山野幸政
市参事兼社会福祉課長	田染定利
市参事兼商工観光課長	河野真一
市参事兼消防長	友久　優
財政課長	伊藤昭弘
地域活力創造課長	小野政文
税務課長	瀬々信吉
市民課長	黒田敏信
保険年金課長	佐々木真治
子育て支援課長	水江和徳
健康推進課長	近藤直樹
人権啓発・部落差別解消推進課長	後藤史明
環境課長	塩﨑康弘
農業振興課長	川口達也
耕地林業課長	阿部博幸
農業地域支援室長	首藤賢司
建設課長	馬場政年
都市建築課長	近藤保博
上下水道課長	遠江正美
地域総務二課長兼水産・地域産業課長	船木靖幸
会計管理者兼会計課長	山田英彦
選挙管理委員会・監査委員事務局長	藤重深雪
農業委員会事務局長	田中良久
教育委員会	
教育長	河野　潔
教育総務課長兼地域総務一課長	植田克己
文化財室長	河野典之
学校教育課長	河野政文
総務課　課長補佐兼総務法規係長	矢野裕治
主幹兼秘書係長	齋藤恭子

○議長（安東正洋君）　おはようございます。

会議に先立ちまして、ご報告をいたします。

第100回全国市議会議長会定期総会において、全国市議会議長会表彰規程により、25年以上市議会議員の職にある者として、菅　健雄議員、河野徳久議員、松本博彰議員が表彰されました。

また、20年以上市議会議員の職にある者として、成重博文議員が表彰されましたのでご報告いたします。

これより、表彰状の伝達式を行います。

なお、伝達式に際し、写真撮影の許可をいたしましたのでご了承願います。

○議会事務局長（大塚栄彦君）　それでは、表彰状の伝達式を行います。

菅　健雄議員、河野徳久議員、松本博彰議員、成重博文議員は、前にお進みください。

最初に、25年以上市議会議員の職にある者の表彰です。

菅　健雄議員、前へお進みください。

○議長（安東正洋君）　表彰状。

豊後高田市、菅　健雄殿。

あなたは、市議会議員として25年の長きにわたって市政の発展に尽くされ、その功績は特に著しいものがありますので、第100回定期総会に当たり、本会表彰規定によって特別表彰をいたします。

令和６年５月22日、全国市議会議長会会長、坊　恭寿代読。

おめでとうございます。

○議会事務局長（大塚栄彦君）　河野徳久議員、前にお進みください。

○議長（安東正洋君）　表彰状。

豊後高田市、河野徳久殿。

あなたは、市議会議員として25年の長きにわたって市政の発展に尽くされ、その功績は特に著しいものがありますので、第100回定期総会に当たり、本会表彰規定によって特別表彰をいたします。

令和６年５月22日、全国市議会議長会会長、坊　恭寿代読。

おめでとうございます。

○議会事務局長（大塚栄彦君）　松本博彰議員、前にお進みください。

○議長（安東正洋君）　表彰状。

豊後高田市、松本博彰殿。

あなたは、市議会議員として25年の長きにわたって市政の発展に尽くされ、その功績は特に著しいものがありますので、第100回定期総会に当たり、本会表彰規定によって特別表彰をいたします。

令和６年５月22日、全国市議会議長会会長、坊　恭寿代読。

おめでとうございます。

○議会事務局長（大塚栄彦君）　続きまして、20年以上市議会議員の職にある者の表彰です。

成重博文議員、前にお進みください。

○議長（安東正洋君）　表彰状。

豊後高田市、成重博文殿。

あなたは、市議会議員として20年の長きにわたって市政の発展に尽くされ、その功績は特に著しいものがありますので、第100回定期総会に当たり、本会表彰規定によって特別表彰をいたします。

令和６年５月22日、全国市議会議長会会長、坊　恭寿代読。

おめでとうございます。

○議会事務局長（大塚栄彦君）　菅　健雄議員、河野徳久議員、松本博彰議員、成重博文議員に皆さん盛大な拍手をお願いいたします。

それでは、自席のほうにお戻りいただきたいと思います。

以上をもちまして、表彰状の伝達式を終わります。

○議長（安東正洋君）　市長、佐々木敏夫君。

○市長（佐々木敏夫君）　表彰された議員の皆様へ、一言、お祝と感謝のことばを述べさせていただきます。

この度の市議会議員25年以上の表彰を受賞されました菅　健雄議員、河野徳久議員、松本博彰議員、20年以上の表彰を受賞されました成重博文議員におかれましては、栄えある受賞、誠におめでとうございます。

これまでの間、議会活動をはじめ、市民福祉の向上、また市勢発展のため、ご活躍を賜りましたことに、衷心より感謝を申し上げます。

これまでのご経験をもとに、今後とも豊後高田市勢発展のため、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

今回の受賞、誠におめでとうございます。

○議長（安東正洋君）　ただいまの出席議員は16名で、議員全員の出席であります。よって、令和６年第２回豊後高田市議会定例会は成立いたしましたので、開会いたします。

この際、諸般の報告をいたします。

お手元に配付いたしました事務報告書のとおりでありますので、ご了承願います。

これより本日の会議を開きます。

市長ほか関係者の出席を求めましたので、ご了承願います。

○議長（安東正洋君）　日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、15番、菅　健雄君及び16番、大石忠昭君を指名いたします。

○議長（安東正洋君）　日程第２、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から６月25日までの21日間といたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（安東正洋君）　ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日から６月25日までの21日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定は、お手元に配付しております会議予定表のとおりであります。

○議長（安東正洋君）　日程第３、第29号議案から第35号議案まで及び第３号報告から第５号報告まで並びに報第１号から報第５号までを一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長、佐々木敏夫君。

○市長（佐々木敏夫君）　本日ここに、第２回定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、提案理由の説明に先立ち、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

まず、消滅可能性自治体からの脱却についてでございます。

４月24日に民間の有識者等でつくられております人口戦略会議から、2020年から2050年までの30年間に、20歳から39歳の女性人口が50％以上減少する消滅可能性自治体の公表がありました。

全国の４割を超える744市町村が消滅の可能性があるとされ、県内では、18市町村の中で10市町村が該当しております。

本市におきましては、10年前に実施されました同様の調査において消滅可能性自治体とされておりましたが、今回の調査では、若い女性の減少率が県内で最も改善し、大変うれしいことに、この消滅可能性自治体から脱却することができました。

私は、７年前の市長就任以来、何も手を打たなければ、自治体の消滅にもつながりかねないという強い危機感の下、スピード感を持って、子育て支援、移住・定住施策をはじめとする人口増施策を最重点に取り組んでいるところでございます。

こうした取組により、転入者が転出者を上回る、人口の社会増を県内で唯一10年連続、達成することができました。特に若い世代の移住も多いことから、人口減少に大きく歯止めをかけることができているものと思っております。

また、こうした結果や全国トップレベルの子育て支援を各種マスメディアにも大きく取り上げていただき、本市を広くＰＲできるなど相乗的な効果をもたらすことができております。

これもひとえに、議員各位をはじめ、市民の皆さまのご理解、ご協力の賜物であると心から感謝しております。

しかしながら、全国的には、少子化・人口減少が進む中、この少子化の流れを変えることは困難かつ長期的な課題となっております。

こうした課題を踏まえ、これからの本市の将来を見据えたときに、現状にとどまることなく、子育て環境のさらなる充実を目指してまいりたいと考えているところでございます。

次に、新たな子育て支援策でございますが、来年４月から、高田高校の希望する全ての生徒に無料で昼食を提供する準備を進めてまいります。

全国的に人口減少が大きく進む中、様々な観点で子育て支援に対する議論が進められております。

本市では、子育ては社会全体で支えるべきであり、教育には隔たりがあってはならないという基本的な考え方の下、保護者負担を軽減する対策として、子育て応援誕生祝い金最大200万円の交付、ゼロ歳児からの市内外の保育園の保育料・幼稚園の授業料の完全無料化、中学生までの給食費の無料化、高校生までの医療費の無料化、園児から中学生までが無料で学べる市営塾、難関大学突破に向けて高校生が授業終了後、夕方５時過ぎから夜の９時まで学べる高田高校生のための無料の市営塾や高田高校の授業料完全無料化、そして、市外の高校に通う場合も同等の支援など、国や他の自治体に先駆けた全国トップレベルの施策に取り組んでおります。

こうした取組をさらに加速させるため、４月からは、子育て応援入学祝い金として、小学校・中学校・高校の入学時にそれぞれ５万円を支給しております。加えて、高校生までの入院時の食事代の無料化も、７月からの実施に向け準備を進めているところでございます。

先ほども申し上げましたが、スピード感を持って人口増施策に取り組んできたことで、本市は消滅可能性自治体からの脱却や人口の社会増を10年連続、

達成することができました。こうした成果をさらに一歩前へ進めるため、今後につきましても、現状にとどまることなく、子どもを産み育てやすい環境を整えていくことが大変重要であると考えております。

令和７年度から高田高校の生徒に対する昼食の無料提供が実施できれば、ゼロ歳児から高校生までの医療費・授業料・給食費の完全無料化を実現することができます。

この実現に向け、関係機関との協議を進めさせていただき、必要な予算などにつきましては、しかるべき時期にご提案できるよう検討してまいりたいと考えております。

なお、本市の財政状況でございますが、財政状況の指標となる経常収支比率は、県内14市で３年連続トップです。

また、令和５年度の基金残高の決算見込は約119億円で、その前年度から約４億円増加しているところでございます。

子育て支援は、未来への投資です。

引き続き、地域の活力は人であるという考え方の下、１年１年が勝負という強い気持ちを持って、人口増に向け、全身全霊で取り組んでまいります。

次に、観光動態についてでございます。

令和５年の本市に訪れていただいた観光客の総数は、99万4,133人で、昨年に比べ約20.6％の増となり、コロナ禍で落ち込んでおりました観光も回復傾向が鮮明な状況となっております。特に真玉海岸は、新たな観光拠点施設真玉海岸恋叶♡ゆうひテラスができたこともあり、過去最高の６万3,171人が訪れていただいたところでございます。

そして、本年５月の大型連休の昭和の町では、天候に恵まれなかったものの、昨年を大きく上回る12.4％の増となる約２万3,000人もの観光客に訪れていただきました。

連休の期間中には、様々なイベントも開催され、大人から子どもまで、多くの人で賑わったところでございます。

また、４月29日の昭和の日に昭和の夢町三丁目館がリニューアルオープンいたしまして、これまでは、昭和30年から40年代の民家を再現した昭和の民家ゾーンで、昭和の暮らしなどを体感いただいておりましたが、今回のリニューアルにより、懐かしい昭和の遊び体験もできるようになり、さらに楽しんでいただける施設が整備できたところでございます。

そして、来年は昭和が始まって100年の節目の年を迎えます。今後とも皆さまに愛され続ける昭和の町となるよう取組を進めていくとともに、交流人口を増やすことで、人口増へとつなげてまいりたいと考えております。

次に、減災への取組についてでございます。

本年１月に最大震度７を観測した能登半島地震をはじめ、各地で震度５弱以上の地震が頻繁に発生しております。

そして、４月17日には、豊後水道を震源地とする地震が発生し、愛媛県、高知県で震度６弱を観測したところでございます。

本市においては、幸いに大きな影響はなかったところですが、発生後、直ちに災害対策連絡室の設置を行い、警戒体制を整えてまいりました。

今回の地震は、南海トラフ地震の想定震源域内での発生であったことから、強い危機感をもたらしたが、専門家において、大規模地震の発生する可能性が急激に高まっているわけでないとの見解が示されております。

しかしながら、南海トラフ地震は、30年以内に70％から80％の確率で発生すると言われており、発生すれば津波をはじめとする被害も予測されております。改めて災害に対する備えの大切さを再認識したところでございます。

また、梅雨時期の出水期を迎えるにあたり、昨今では気候変動等により、全国各地で大雨による河川の洪水等が発生しております。

こうした状況を踏まえ、第１回定例会でも申し上げましたが、本市では、防災重点ため池において、線状降水帯の発生など大雨が予想された場合は、地元関係者と連携を図り、事前にため池の貯水量を調節し、河川への雨量を最小限にとどめる対策を行っております。

また、先日、市内全戸に本市の新しい洪水ハザードマップをお配りしました。これは、中小河川が氾濫した場合の浸水想定区域を追加したもので、市民の皆さまの安全確保にご利用いただきたいと考えております。

そして、本年３月から、災害弱者への支援といたしまして、関係機関のご協力をいただき、自力で避難することが困難な高齢者や障がい者等の要支援者を対象にした指定福祉避難所を市内４か所に指定したところでございます。

この指定福祉避難所につきましては、要支援者の個別避難計画における避難先となることから、今年

度から、専門職員を配置いたしまして、要支援者の方々が安心して避難できるよう、常日頃から自身でできる災害への備えや、防災意識の向上を図るとともに、個別避難計画の早期作成に向け取組を進めているところでございます。

市民の皆さまには、自助・共助を中心とした防災及び減災に対する意識のもと、災害リスクへの正しい理解と早めの避難を心がけていただきますよう、お願い申し上げます。

次に、功労者表彰についてでございます。

４月29日、豊後高田昭和の町の日に、議員の皆さま方や県・市の関係者をはじめ、多くのご来賓の皆さまにご臨席いただき、功労者表彰式を開催いたしました。

教育の振興、自治運営、商店街振興などの各種分野で功績を挙げられた10名と１団体の皆さま方を表彰いたしました。

市政運営にご協力いただきましたことに感謝を申し上げるところでございます。

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その大要をご説明申し上げます。

第29号議案の令和６年度一般会計補正予算（第２号）につきましては、5,878万5,000円の増額で、補正後の予算総額は、188億8,568万3,000円となります。

まず、衛生費では、秋以降に開始が予定される65歳以上の高齢者等に対する新型コロナウイルスワクチン接種事業について、必要な経費を計上しております。

農林水産業費では、新規事業として、放牧経営の新規参入や規模拡大に取り組む事業者に対して、放牧地の整備等支援をする事業費のほか、肉用牛担い手確保総合対策事業費の増額及び田染真木地区におけるレストラン新築事業費の増額を計上しております。

土木費では、木造住宅の耐震化を促進するため、耐震改修に係る補助金を増額する事業費を計上しております。

第30号議案の令和６年度下水道事業会計補正予算（第１号）につきましては、過年度補助金等返納金を計上しております。

報第１号の令和５年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書につきましては、地方自治法施行令第146条第２項の規定に基づき、事業繰越について報告するものでございます。

報第２号の令和５年度一般会計予算事故繰越し繰越計算書につきましては、地方自治法施行令第150条第３項の規定に基づき、事故繰越しについて報告するものでございます。

報第３号の令和５年度下水道事業会計予算繰越計算書につきましては、地方公営企業法第26条第３項の規定に基づき、事業繰越について報告するものでございます。

次に、予算以外の議案等についてでございますが、各議案の末尾に提案理由を付しておりますので、主なものについてのみ、ご説明申し上げます。

第31号議案の辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定及び変更につきましては、一畑地区に係る計画を新たに策定するとともに、田染真木、田染平野及び夷地区の計画の一部を変更したいので、議決を求めるものでございます。

第32号議案の豊後高田市税条例の一部改正につきましては、地方税法等の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うものでございます。

第33号議案の豊後高田市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正につきましては、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部改正に伴い、所要の規定の整理を行うものでございます。

第34号議案の豊後高田市立地企業従業員用住宅条例の一部改正につきましては、定住促進を図るため、立地企業従業員用住宅の入居要件を緩和するものでございます。

第３号報告から第５号報告までにつきましては、市税条例、市税特別措置条例及び国民健康保険税条例について、早急に所要の規定の整備を行う必要が生じたため、地方自治法第179条第１項の規定に基づき、専決処分をいたしましたので、同条第３項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

報第４号及び報第５号につきましては、地方自治法第243条の３第２項の規定に基づき、株式会社スパランド真玉及び観光まちづくり株式会社について、経営状況を説明する書類を提出するものでございます。

以上で、本定例会に提出いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

○議長（安東正洋君）　以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

明日から６月13日まで休会いたします。

６月５日

次の本会議は、６月14日午前10時に再開し、議案質疑を行います。

なお、議案質疑の通告は、明日正午までに提出願います。

本日はこれにて散会いたします。

午前10時32分　散会

地方自治法第123条第２項の規定によりここに署名する。

豊後高田市議会議長　　安　東　正　洋

豊後高田市議会議員　　菅　　健　雄

豊後高田市議会議員　　大　石　忠　昭